

# 大志を育む



平成30年10月23日

教育委員会だより

No. 25

発行：北広島市教育委員会

## 北広島市 全国学力・学習状況調査の結果について（概略）

北広島市教育委員会 学校教育課指導主事

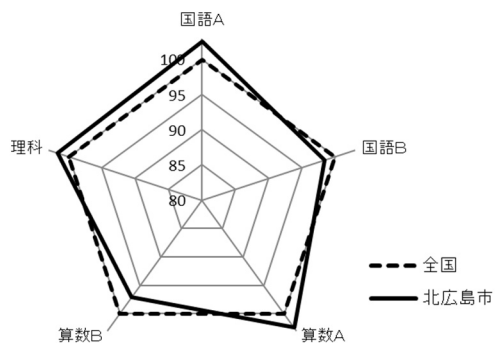
小島 雅人

北広島市では、「中学校区ごとの学力向上教育相談」を8月下旬から10月上旬にかけて実施しました。この教育相談ですが、今年度の標準学力検査（NRT）※1、全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえ、中学校区で学力の現状を共有すること、この分析から日々の授業改善、児童生徒一人ひとりの学力向上を支えることを目的としています。これは今年度、本市の全小中学校で進めている小中一貫教育、「義務教育9年間を通して生きる力を育む」における取組の一環でもあります。

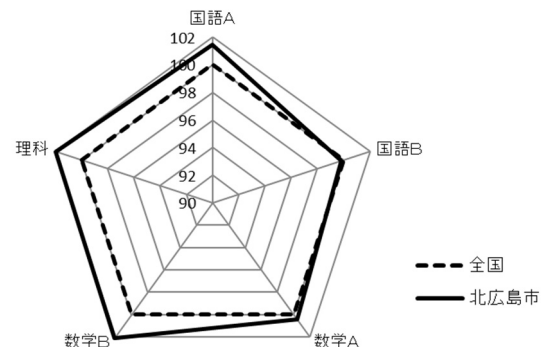
本稿では、北広島市の小中学校の全国学力・学習状況調査の結果の一部を紹介させていただきます。なお、H30全国学力・学習状況調査の詳しい結果は、北広島市教育委員会のホームページに掲載されます。 ※1 標準学力検査（NRT）～標準化された教研式学力テスト、北広島市では全小中で国語、算数・数学を実施

### 【平成30年度全国学力・学習状況調査の結果 ～北広島市】

全国平均正答率を100としたときの  
北広島市の平均正答率 ～小学校



全国平均正答率を100としたときの  
北広島市平均正答率 ～中学校



上図は、今年度の学力調査における正答率をレーダーチャートにしたものです。このグラフからは、本市では小中とも、全国より高い正答率を示していることがわかります。小学校では国語A、算数A、理科、中学校では国語B以外の全教科が全国より高い正答率です。小学校では、国語、算数ともB問題がやや低い傾向にあります。また、小中とも各教科領域別でも、全国より高い正答率を示しています。

#### 〈質問紙～児童生徒・学校に関する結果の概要〉

- 小中とも、「先生は良いところを認めてくれる」「ボランティア活動への参加」「計画を立てて学習する」が全国より高い数値を示していることが、本市の特徴となっています。
- 小中とも、放課後や週末、家でテレビを見たり、ゲームやインターネットをしている割合が全国に比べると、やや高い状況にあります。また家庭学習で、普段、1時間以上勉強していると回答した児童生徒の割合が全国に比べて、低くなっています。
- 小中とも、日々の授業でパソコンや電子黒板等のICT機器を活用して授業を行った割合は、全国平均を大きく上回っています。

今年度の全国学力・学習状況調査の結果より、確実に市内児童生徒の学力は向上してきていることがわかります。それは同時期に行われるNRTの結果にも表れていました。これは、分析を踏まえた各学校における日々の授業の工夫と改善、9年間で児童生徒を育てる教員の意識の賜物と考えています。学力向上や確かな学力の定着は一朝一夕には実現することはできません。前述の学力向上教育相談等のような取組を確実に継続し、これまで以上に学校・家庭・地域が連携し、本市児童生徒の「学力の向上」に努めていきましょう。教育委員会も、今後もしっかりサポートしていきます。

